

五戸総合病院での濃厚で充実した1カ月

平成28年度初期臨床研修医 義之愛子

五戸町から大阪へ帰ってきて、早1カ月が経とうとしています。

2ヵ月前の今頃は、果たして青森で1カ月やっていけるものだろうかと不安でいっぱい、青森に到着してからも、「自分で希望したけれど、やっぱりやめておけばよかったかな。」という後悔の念さえ感じていました。しかし、「先生たちが来て、病院の空気が変わって活気が出てきた。」といろんなところで言ってもらえる度に、そんな不安は消えていき、むしろ自信に変わっていきました。

五戸での1カ間、病棟や外来の看護師さんの優しさには救われ続けていましたが、特に、研修1週目にして、すでに外来診察室の前に『義之先生』と名札がかかっていたのを目にした時は、本当に感動しました。もはや研修医ではなく一人の医師として認められているんだと感じると同時に、私も研修医という立場ではなく、一人の医師として責任を持たなければと強く思いました。

また、私が小児科医志望であるということで、内科業務の合間に乳児検診や予防接種に携われるように配慮してくださったり、本当に充実した日々を過ごすことができました。

最終日には、「いつでも帰ってきてくださいね。」と声をかけていただき、後ろ髪を引かれる思いで病院をあとにしました。五戸は本当に居心地がよく、大阪に帰ってきてからも、五戸に戻りたいな、なんて勝手に故郷のように思っています。初期臨床研修も残り7カ月あまりですが、五戸での日々は最も忘れられない1カ月になることでしょう。

最後になりましたが、大阪からひよいとやってきた研修医のことを歓迎してくださった、五戸総合病院の先生方や看護師、コメディカル、医事課の方々には、心から御礼申し上げます。必ずまた五戸の地を訪れたいと思います。